

令和5年第3回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 高月 義夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)各種計画のパブリックコメントや事業評価について	<p>田布施町には、複数年にわたる様々な計画がある。議員になって初めて多岐にわたる計画の多さを知った。この計画はホームページへの掲載をお願いし、かなり見る事ができるようになった。今年2月同僚議員から、第4次男女共同参画プランのパブリックコメントが、ホームページ、公民館、図書館に出ていると知らされた。案を見ると、目標設定が、今より増加させるや減少させるなど、0.1%変化することで目標達成ととれる表現が多かった。これでは毎年のKPIでの検証はできないのではないかと、何のための目標なのかわからない点をコメントした。</p> <p>田布施町の各種計画への取組について、町としてどのような事に注意し目標設定しているか、またパブリックコメントについても問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パブリックコメントを行う目的を教えてください。 2. 現在のパブリックコメントはどのような方法で行っているか。 3. 町に、パブリックコメントについて明文化された規定はあるか。 4. 毎年KPIによる検証を行うことを前提に目標設定されているか。 5. 各種計画の年次ごとの目標達成の検証はされているか。 	町長
(2)町の目指す農業とオーガニック給食への取組について	<p>現在、田布施町では国のほ場整備が進められ、農業を取り巻く環境も変わってきている。農業従事者の高齢化による人材不足も顕著である。</p> <p>第6次総合計画でも農林業の振興は、基本目標6 にぎやかで活力あるまちづくりの一番にあり、ここには、これから取り組むべき課題があげられている。総合計画策定より2年と4分の1が経過した現在、これから取り組むべき未来に向けた農業ビジョンをどう描いているのか。また、最近注目されているオーガニック給食について、千葉県いすみ市が2013年より有機米生産に力を入れ、学校給食を有機米で提供、残菜の約10%減少等成果が出ていると聞く。農業政策は、町全体の暮らしや、移住定住など、町の魅力にも通じる喫緊の重要政策であると思う。これからの田布施町の農業政策、移住定住関連について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第6次総合計画を踏まえ、町が描く農業とは。 2. 目指す農業が適った時、町の未来はどのようなになっているか。 3. 目指す農業により、町の関係人口や流入人口は変わると思うか。 4. 有機農業や関連するオーガニック給食への取組の考えはあるか。 	町長 教育長

質問者2 松田 規久夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)BCP作成後の災害ゴミ対策	<p>防災対策機能を有した施設が、保健センターとして活動を始める。田布施町は行政事業継続計画として、BCPが作成され各種災害、事故に備えている。日本各地で毎年、自然災害が発生している。ここ柳井エリアでは自然災害ではなく、大島と上関で2つの甚大な橋の事故が発生した。住民の生活に多大な影響を及ぼしたのは記憶に新しい。田布施は自然に恵まれ災害の少ない気候温暖な地域だが、地球温暖化の影響で風、雨、気温の上昇と以前に比べ程度が激しくなっている。望まないBCPの出番も近い気がする。私は、可能性の高い大きな災害は田布施川堤防の決壊による水害と考えている。①水害による災害ゴミ処理のシミュレーションはできているか。</p>	町長

	②町全域となれば大地震と考える。被害は古い家屋が中心となり、全、半壊の建物ゴミ、倒壊で処分を要す各種ゴミ処理。ゴミ処理が遅れば交通の支障となり、物流網の確保が困難となる。それが、住民生活に影響してくる。以上、BCPにおける水害、地震対策を尋ねる。	
(2)地域おこし協力隊シニア版	田布施町の農業従事者の主力は70歳代、元気でバリバリの現役として活動している。何もせずに手をこまねいていけば一段の高齢化の進展で、大胆に予測すれば10年しないうちに、ほ場整備された田の一部は耕作放棄地となる可能性が高い。また、農業従事者の引退で、担い手不足も見込まれる。担い手不足が耕作放棄地となっているのが現状だ。町内から担い手の増加は期待できないだろう。町外から移住も兼ねた新たな農業就農者を募る案はどうであろうか。農業の経験はなくても、田舎暮らしを希望する人は多いと思う。ターゲットをシニア層に絞って、定年退職者あるいは早期定年退職者の「地域おこし協力隊シニア版」、農業おこしシニア隊として人材を募集する案を尋ねる。	町長
(3)空家へ新税導入	実家の両親の死亡により、居住目的のない空家が町内全域で目立つようになった。このような空家を所有者が適切に管理しなければ、近隣住民に対し防犯上、防災上、衛生上の外部不経済を発生させ、地域環境も悪化する。空家対策として「空家等対策推進に関する特別措置法」が2015年に施行された。特定空家に対し行政の介入が可能となったが、管理状態が非常に悪くなってからの対症療法である。居住目的がなく使用しない管理の悪い空家は、年数の経過で特定空家になっていく。なぜ所有者は家屋を放置するのか。使用しない家屋があることで、宅地評価の固定資産税が優遇されるのも大きな理由である。特定空家になる防止策として、新税の導入で地域住民の安全で良好な環境を確保したいので尋ねる。	町長

質問者3 落合 祥二

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)田布施町地域公共交通計画策定に向けた本格的な始動について	<p>今年の1月10日に田布施町地域公共交通協議会を立ち上げ、5月にコンサルタントを選定した。今後、協議会を4回程度開催し、来年3月末までには策定予定と聞いている。そこで次について尋ねる。</p> <p>①協議会の構成メンバーは、協議会の議論を円滑に進行できるアドバイザーやコーディネーターはいるのか。</p> <p>②コンサルタントを選定する際、プロポーザルによる企画提案により選定したか。応募は何社あったか。選定したコンサルタントは、豊富な経験を持ち、一緒に地域の課題に向き合ってくれるか。協議会には必ず出席してくれるのか。</p> <p>③町民・利用者・高校生アンケート調査、交通事業者等とのヒアリング調査、住民との意見交換会、町民の意見聴取のためのパブリックコメントが実施予定されている。これらは、田布施町にとって望ましい計画にするため必要不可欠なもの。見解は。</p> <p>④計画の策定に当たっては、コンサルタント会社に丸投げするのではなく、調査に担当者も同行する等、積極的に関与すべきと思うが、見解は。</p>	町長

(2) 町長が求める職員像について	今年3月に退職した職員は8名で、4月に新たに採用した職員は11名。令和5年4月1日現在の職員数は何名か。そのうち男性は何名、女性は何名か。町長が求める職員像は何か。また、町長が求める職員像を実現するためには、どうすべきと考えるか。	町長
-------------------	---	----

質問者4 河内 賀寿

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 「たぶせ桜まつり」今後の課題は	コロナウイルスが沈静化し、久しぶりに「たぶせ桜まつり」が開催された。天気もよく、参加者も多数、催し物も活気で溢れていた。正直、大成功だったと思う。 今後の課題、改善点などあれば聞きたい。	町長
(2) ほ場整備	国のほ場整備事業で、町内のかんりの農地が綺麗になったようだ。棚田の美しさを強調される方もおられる。また、自給率の向上も大事なことである。 若い人の農業に携わる方の町内の現状はどうか。現在、有望な利益をもたらす農作物など、若い人が興味を持って打ち込めるようなものなどがあれば、分かる範囲でいいので内容の説明を願う。	町長

質問者5 瀬石 公夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 柳井地域水道事業の広域化について	令和5年3月20日の全員協議会で柳井地域水道事業の広域化についての説明があり、柳井地域以外のより広範囲な事業統合を最終目標とし、当面の目標は、柳井地域の全ての水道事業体の経営の一体化（経営統合）を目指す。経営の一体化の時期は令和7年4月1日（目標）とされていた。そこで、次のことについて尋ねる。 1 水道法において、広域連携の推進役として県の責務が明示された。山口県の水道は人口減少による給水収益の減少、水道施設の老朽化、災害への対応、人材不足など持続可能な事業運営に課題があるとされている。その認識は。 2 柳井地域の水道料金は山口県内で一番高い、経営の一体化により将来水道料金の抑制が図れるのか。 3 経営の一体化によりスケールメリットが現れると思うが効果額は。 4 水道普及率は全国では98.1%、山口県93.9%、田布施町65%で普及率は県下最低である。本町では「民間宅地開発支援事業補助金」が創設された。宅地開発の推進のために普及率向上が必要では。	町長
(2) スギ、ヒノキ花粉症対策について	今年はスギ、ヒノキ花粉の飛散量は例年になく多く、花粉症かコロナウイルス感染かどちらか分からない症状で困り不安だったと聞く。 現在の日本では、約38.8%の人がスギ花粉症といわれている。くしゃみ、鼻水、目のかゆみ、頭痛や倦怠感、モチベーションの低下、不眠の症状などが現れ花粉の飛散の季節は辛いと多くの方から聞く。花粉飛散の季節が過ぎたからといって、ないがしろにしていい話ではないと思う。 そこで、次のことについて尋ねる。	町長

	<p>1 花粉発生源対策によるスギ、ヒノキを花粉の少ない苗木への植え替えは町内では何パーセントくらい行なわれているか。</p> <p>2 花粉症対策として町民への保健指導や予防治療のきめ細かい指導や啓発が必要では。</p> <p>3 花粉症は、もはや国の社会問題である。国、県に働き掛けて俎上に載せて頂きたいと思うがいかがか。</p>	
(3)町民へのハザードマップの周知について	<p>滋賀県の全国市町村国際文化研修所で開催された「住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～」の研修を受講した。</p> <p>発信力向上の中でハザードマップが住民に良く周知されているか、またハザードマップを住民がインターネットやスマホで観やすいか、命にかかわる事なので検索しやすい事が重要であると教示された。</p> <p>しかし、どの市町村もハザードマップを見つけるのが難しい、検索欄をホームページの最初に持ってくるなど工夫があると講義を受けた。本町の場合検索欄が最初に有り、またその下の「安心・安全」の欄をクリックするとハザードマップや防災、災害などの閲覧が可能で観やすい。しかし、ハザードマップは各家庭に配布されているがどの位家庭に備え付けられ観られているか疑問である。</p> <p>そこで、次のことについて尋ねる。</p> <p>1 ネット環境の無い家庭に、災害、防災情報を普段どの様に周知されているか。</p> <p>2 ネット環境の無い家庭に情報提供をするために、スマホの購入補助を行いスマホ教室等の開催が必要では。</p>	町長

質問者6 内山 昌晃

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)医療的ケア児の支援について	<p>令和3年に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」により国や地方公共団体等の医療的ケア児や家族に対する支援が努力義務から責務となったことについて、昨年6月の定例会において一般質問をしました。</p> <p>町長の公約でもある子育て施策のひとつでもあります。希望する施設に通うことのできる支援体制や看護師などの人材の確保が必要です。法律施行から概ね3年を目途に実施状況などを勘案した検討をすることとなっていますので、その後の進捗状況について再質問します。</p> <p>(1) 町内在住の医療的ケア児やその家族が抱える課題や希望を調査しているか。</p> <p>(2) 看護師など専門的な人材を確保する仕組みを検討しているか。</p> <p>(3) 近隣自治体や柳井圏域での協議はされているか。</p> <p>(4) 保育所、放課後デイサービス、児童発達支援所などの民間施設と協議はされているか。</p> <p>以上、お尋ねします。</p>	町長
(2)令和5年度新規事業について	<p>令和5年度の2つの新規事業について質問します。</p> <p>(1) 地域活性化起業人制度について</p> <p>三大都市圏に所在する企業等の社員が、専門的知識を活かした観光振興やデジタル化の推進等、企業で培われた人脈やノウハウを活かしながら、地域活性化の取組を効果的・効率的に展開するため自治体業務に従事する制度で、本年度より合同会社DMM.comから人材が派遣されていま</p>	町長

	<p>す。本事業の目的は、デジタル化により町民の利便性や職員の業務効率を向上させるとありますが、具体的にはどのようなことを実施し、どのような効果を見込んでいるのかお尋ねします。</p> <p>(2) サテライトオフィス誘致推進事業</p> <p>企業等が、都市部等に構える本拠とは別に、地方の遠隔地に設置するオフィスとあります。光ファイバー網は馬島を除く町内全域を網羅していることから、対象地域は町内全てが対象と認識していますが、具体的な実施方法をお尋ねします。</p> <p>また、本町に誘致する企業や事業者等の見込みはあるのか、今後の誘致活動や情報提供をどのように行い、広く周知していくのかお尋ねします。</p>	
--	--	--

質問者 7 伊村 渉

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)馬島から通学、親の補助はできないか	<p>現在、馬島の人口は、4月末現在16戸、25人で、この春小学2年生に進学した子供と3名が本土で働いておられる。小学生は、朝の通学で親と一緒に渡船で、麻里府側に渡っている。そして7時50分に公民館へ迎えに来るマイクロバスを親と一緒に待ちます。①小学生の渡船料は、補助があるが、同伴の親には補助がありません。子育て支援が騒がれる今、なんとかならないものか。それと渡船は、7時に麻里府に到着し、7時50分の通学バスが来るまで、冬は寒いので50分間、車で待たなければならない事だ。この状況は毎日大変だと思われる。②送迎バスの時間を繰り上げるか、7時から8時までを一便増やすか、又送迎バスが渡船場まで送迎できるか検討して頂きたい。当事者家族には、もう一人幼児がおられる。そのあたりの話を確認し、現状を少しでも改善出来るよう、願います。</p>	教育長
(2)馬島、津波の緊急避難場所の設定	<p>現在、馬島には津波の緊急避難場所としての設定がない。島民は、現在25人であるが、必ず設定をして置かないと人命に係わる問題である。夏のシーズンには、海水浴やキャンプの来客数も島民人口の何倍にもなると思われる。緊急時の対応が出来るようお願いする。①候補地は島内限られると思われるが、場所の設定について考えをお尋ねする。②消防では4分団2班になるが、可搬ポンプは新しく設置済み、しかし発電機がありません。ポンプに照明用コンセントが付いているが水利を照らす対応が出来ません。火元の照明であり、電気器具の電源対応には発電機が無いと無理です。発電機の設置対応ができるか。③自主防災備品も揃っていないと思われる。防災備品が無い場合、「移動かまど、ガソリン携帯缶、コードリール、非常米、土のう袋、ブルーシート」等、最低でもこの位の備品は揃えて頂きたい。④馬島の景観で、渡船場から北側(本土側)に桜を植樹したら、4~5年経つと、春には桜並木が観られると思うが、考えて頂きたい。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)誰もが楽しめる公園を</p>	<p>ふるさと詩情公園を障がいの有無等にかかわらず、誰もが楽しめ交流できるインクルーシブ公園に整備できないものかとの声を、障がい者個人や障がい者団体等多くの人から聞くことが多くなってきた。</p> <p>近年、山口県内でも山口きらら公園や下松市、防府市、宇部市ではインクルーシブ公園化に向けて動き出している。</p> <p>① 詩情公園内にある施設・設備の定期的な点検や更新は？</p> <p>② 近隣公園へのインクルーシブ遊具を設置するだけでなく、泥んこ遊び等自然体験ができる公園に整備を。</p> <p>③ 田布施地域交流館裏のトイレに障がい者も使用できるような多機能トイレの併設を。</p> <p>④ 詩情公園内で、障がいの有無に関わらず誰もが参加可能なイベントを観光協会等と協力して定期的な開催は？</p> <p>⑤ 展望広場の「ビュースポットやまぐち」から見渡せる絶景の視界を遮る木々の伐採を。</p> <p>⑥ 私立保育園（幼稚園）へのインクルーシブ遊具の導入は？</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>(2)人と自然が循環するまちづくりを</p>	<p>田布施町に移住してきて「田布施町まちづくり研究会」を立ち上げ、定期的に「まちづくり新聞」を発行しながら一貫して取り組んでいるのが、私の選挙公約の一つでもある「人と自然が循環するまちづくり」である。</p> <p>私の住む地区だけでなく、田布施町全体で取り組みたい諸課題を取り上げて質問する。</p> <p>① 空き家バンクに賃貸だけでなく売買も可能な物件の取り扱いを。</p> <p>② お試し暮らしの家「おいでえ」の利用見直しを。</p> <p>③ 「支えあいまりふ」のような高齢者支援や環境整備ができる生活支援体制整備事業（協議会）を各地区に設置を。</p> <p>④ 遊休農地の果樹園転換に奨励金を。</p> <p>⑤ 麻里府地区活性化の足かせとなっている旧麻里府小校舎の撤去を。</p> <p>⑥ 城南小を小規模特認校にして、児童数増を。</p> <p>⑦ 子育て世代の移住者にもアピールできるような特色ある各学校のHPの更新を。</p>	<p>町長 教育長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)生活基盤整備支援事業について</p>	<p>生活基盤整備支援事業は地域の生活道、水路の整備または補修を地域の利用者が共同で行う場合に利用できる。支援対象は資材購入費、作業用特殊機材の借上げ費である。支援限度額も受益世帯数×支援金である。</p> <p>近年、資材費の値上り、作業用特殊機材の燃料代の値上りなどあり、支援限度額を引き上げて良いのではないかと、作業費は支援対象外であるが大規模工事の場合、地域住民の高齢化により作業はととても危険であり、ある程度建設業者に委託しても良いのではと感じる。以上質問致します。</p>	<p>町長</p>

<p>(2)麻里府公民館の進捗状況について</p>	<p>令和5年度の予算資料によると、麻里府公民館整備の概要と防災拠点施設等整備事業債1億350万円を使い、実施設計、土地造成工事、土地購入費が予定されている。スケジュールは令和4年度:基本設計、令和5年度:実施設計、令和6年:建設工事である。予定通り工事は進みそうか、公民館建屋はどのようなものか、地域との話し合いは順調か。国道を通っていると建設予定地に大きな木があるが、あの木はどうするのかお尋ねします。</p>	<p>町長</p>
---------------------------	---	-----------

質問者10 神田 栄治

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)児童数(生徒数)の減少に伴う影響と対策及び少子化対策について</p>	<p>小学校の児童数、中学校の生徒数の減少に歯止めがかからない。小学校では、平成12年度から29年度までの18年間800人台だった児童数が、30年度から減り続け、今年度は600人を割り込み570人まで落ち込んでいる(約3割減)。中学校では、平成14年度から400人前後で推移していたが、令和3年度に400人を割り込み、今年度は362人となっている(約1割減)。</p> <p>児童数減少の弊害として、①教員の人員削減となり、学級数が減少。教員1人あたりの担当児童数が増え、教員の負担増につながる。②児童同士の交流や競争が少なくなることによって、学びの刺激やモチベーションが低下するなど、教育の質の低下を招く恐れがある。③児童数や生徒数が大幅に減少することが予想される場合、学校の廃校や統廃合の可能性が生じ、通学距離の増加や学校の消滅による地域の衰退が生じるなどが考えられるが、これらの問題に対し、どのように対処されるか。</p> <p>併せて、これらの諸問題の根本原因である少子化への対策として、どのような政策をうっていくのか。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>(2)買い物送迎サービス増便の結果と今後の運行について</p>	<p>平成26年度から開始した買い物送迎サービス事業にて、利用者の利便性を高めるため、試行として、今年3月から5月までの3か月間、送りの便を、従来からの1便を2便に増便する措置が取られたところですが、その結果はどのようなになったのか。また、その結果を踏まえ、今後どのように運行していかれるのか、お尋ねします。</p>	<p>町長</p>
<p>(3)チャットGPTなど文章生成AIの導入について</p>	<p>チャットGPTなど対話型の文章生成AIの導入について、マスコミで取り上げられることが多くなった。導入のメリットとしては、業務の効率化が図れることで、①質問に対する自動応答機能②ファイル検索機能③動画、音声の文字起こし④顧客分析等が可能であり、具体的には、キャッチコピーや企画を考える時での活用。顧客対応やカスタマーサポート(メールの返信など)に活用。Web記事の作成。創作活動に役立てるなど、ビジネス以外での活用も可能である。一方、デメリットとしては、情報漏洩やプライバシー侵害などが考えられる。</p> <p>世に出て間もない生成AIの導入について、どのようにお考えかお尋ねする。</p>	<p>町長</p>